

横 浜 市 教 育 委 員 会
定例会会議録

- 1 日 時 令和7年11月21日（金）午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 18階共用会議室（みなと4・5）
- 3 出 席 者 下田教育長 植木委員 森委員 泉委員 緒方委員
- 4 欠 席 者 綿引委員
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

令和7年11月21日（金）午前10時00分

1 一般報告

「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
横浜市いじめ防止啓発月間の取組について

2 審議案件

教委第37号議案 令和7年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出について

教委第38号議案 横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について

教委第39号議案 横浜市立学校における物損事故に係る損害賠償額の決定に関する意見の申出について

3 その他

[開会時刻：午前10時00分]

下田教育長

ただいまから、令和7年11月21日教育委員会定例会を開会いたします。
本日は、綿引委員より欠席の連絡を頂いております。
それでは、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

石川教育次長

【一般報告】

1 市会関係

教育次長の石川です。それでは、報告いたします。
まず、市会関係ですが、前回の教育委員会臨時会から本日までの間についての報告はございません。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 11/15 南吉田小学校創立120周年記念式典
- 11/17 心の教育ふれあいコンサート

(2) 報告事項

- 「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合本部等への派遣について
- 横浜市いじめ防止啓発月間の取組について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、11月15日に、南吉田小学校創立120周年記念式典が南吉田小学校で行われ、植木委員が出席し、挨拶しました。

また、9月から市立小学校の児童を中心に実施しております「心の教育ふれあいコンサート」を、横浜みなとみらいホールで開催いたしまして、11月17日の回に植木委員、緒方委員が出席しました。

次に、報告事項として、この後、所管課から2点報告いたします。まず、1点目ですが、「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、2点目は、「横浜市いじめ防止啓発月間の取組について」、報告いたします。

私からの報告は以上です。

下田教育長

報告が終了いたしました。御質問等ございますか。よろしいですか。
質問がなければ、「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、所管課から御報告をお願いします。

山本学校教育
部担当部長

学校教育部担当部長の山本でございます。「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、御報告いたします。詳細につきましては、引率しました学校経営支援課指導主事から報告させていただきます。

兵頭学校経営
支援課指導主
事

学校経営支援課指導主事の兵頭です。よろしくお願いいたします。「『よこはま子どもピースメッセンジャー』の国際連合本部等への派遣について」、御説明いたします。

「1 目的」ですが、資料にありますように、国連本部等での会談や国連国際

学校での活動を通して国際平和について学び、国際感覚を身に付けることに加え、派遣後の派遣報告等を通して自身と向き合い、グローバル人材として成長することとしています。

「2 派遣児童生徒」ですが、7月に実施した「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で、横浜市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名を派遣しております。今年度約48,000人が参加したものになります。この4名と同時に、＜参考＞にもありますように、横浜市中学校英語弁論大会入賞者の5名が国連国際学校で同時期に体験入学を行い、一部の活動を共に行いました。

「3 派遣期間」は、10月12日日曜日から10月19日日曜日の約1週間となっております。

「4 主な活動内容」ですが、国連機関を代表する方々との会談で、資料にあります11名とお会いすることができました。会談では、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選に出場した38名の、「子ども実行委員」で作成した「よこはま子どもピースメッセージ2025」を伝え、4人がコンテストで主張した内容を含んだ自己紹介などを行いました。さらに、国連の方からは、御自身の仕事についてや子どもたちに期待していることなどもお話いただきました。子どもたちは頂いた話に対して質問し、自分の考えを深めていくような場面もありました。国連事務総長室の室長であるコートネイ・ラットレー氏に横浜市長からのメッセージもお渡ししましたが、子どもたちのピースメッセージの内容に感銘を受けたということに加え、子どもピースメッセンジャーをはじめ、横浜市や日本の子どもたち、若者に対する感謝や期待も伝えていただきました。

裏面を御覧ください。派遣の後半の活動としては、国連国際学校への体験入学を行い、前半の会談とはまた違った刺激を受けておりました。多国籍の子どもたちが多く通う学校ですので、互いの文化や個性をリスペクトすることが前提となっているような環境を体験し、前半の会談で理論的に学んだことを体で感じているように見えました。帰国後に生かしたい具体的な目標も持てたように思います。

最後に、「5 NY訪問を終えた子どもピースメッセンジャーの感想」はそちらにありますように、それぞれ自分が学んだことを学んだだけで終わりにせず、今後の具体的な行動につなげていきたいという強い意志を持てたように思います。

今後の取組予定にもありますように、今回の派遣報告をする機会が今後、何度かあります。その中で何を学んだかだけでなく、どのように行動に移していきたいか、また、数か月たってからの報告になりますので、既に行動が変わっているようであればそういった場面も見せていけると良いのかなと期待をしております。子ども実行委員や、今後、市民にも開いたシンポジウム等も行いますので、ほかの多くの子どもたちや市民に対して、この派遣の成果を還元できるようにしていきたいと考えております。私からは以上です。

下田教育長

説明が終了しましたので、御質問等があればお願いいたします。

緒方委員

御報告どうもありがとうございました。報告を聞かせていただき、意義深い活動であると思っております。まず一つは、今回の派遣ももちろんそうですが、48,000人の児童生徒がこの機会に平和について深く考え、それぞれ作文に記していくという、その行為だけでも私は大変な意義のあることだと思います。それが、横浜市に住んでいれば義務教育期間中に、5年生・6年生、中学3年生と、3回そのような機会があって、裾野の広い平和に関する取組だと私は思って

います。そして、今回4名の児童生徒が国際連合本部等へ行ったわけですが、聞くところによると「よこはま子ども国際平和プログラム」は、もう40回ぐらいされているということで、その都度横浜市から派遣されているトータルの人数で考えると大変な人数だと思いますが、そのことも非常に意義深く、これはぜひ持続可能と言いますか、これからも横浜市として続けていってほしいという思いがあります。

それで、40回目ということは、最初に参加した児童生徒はもう大人になり、社会の中で活動していると思いますが、もし分かりましたら、その児童生徒たちの、追跡調査までは言わないですが、ピースメッセンジャーの体験を自分の中に取り入れてその後どうされているのかということも知れるとすてきだなと思いましたので、何万人という子どもが毎年考えるという、裾野が広く非常に意義ある活動だと思いますので、ぜひまた続けていっていただきたいなと思います。

下田教育長

ほかにございますか。

森委員

御報告ありがとうございます。私もこの事業、本当に意義深いと思っています。よこはま子どもピースメッセンジャーの皆さんの感想の中に「派遣を通して、世界の見方が変わった」と書いてあります。子どもたちが実際に行って物事の捉え方や見方が変わったということだと思うのですが、どのように見方が変わったのか、子どもたちの感想の中からもし話やエピソードがあればお聞かせいただきたいと思ったことが一つと、兵頭指導主事御自身や、引率されたほかの教職員など、大人の皆さんたちが何を感じたかということも共有できたらと思いました。

兵頭学校経営
支援課指導主
事

ありがとうございます。見方が変わったということに関してですが、それまでは自分が何を主張したいかなど、自分の思いを一生懸命相手に伝えることに力を注いでいたのですが、平和を考える上では、対話や相手の立場を考えることが大事だということを様々な会談で話を聞いて、自分が言いたいことを言うだけでなく、相手がどのように思っているかを考えることに切り替えたというような子どもたちは多くいたように思います。

2点目の大人たちの学びですが、今回の引率者は私も含めて6人おりまして、子どもたちと同時に大人も非常に学ぶことの多い派遣だったと思っております。引率者の中には、現場の教員もおりますし、管理職もおります。そのため、それぞれの学校などで、派遣で学ばれたことをお伝えしていると聞いておりますし、今後も派遣を経験する教職員は増えていきますので、教職員としての学びを還元する場面も作っていかれたらと考えております。ありがとうございます。

森委員

ありがとうございます。「何を主張したいかだけではなく相手の立場から考える」。そういった御発言があったということですね。私も「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に審査側として参加させていただきましたが、参加された皆さんのどの話を聞いても、自分の体験にひも付けながら平和について深く考えて発表されていたのを思い出します。それは、選出された4人もそうでした。ただそれだけではなく、更に視点を開いていくような機会にもなったということが聞けて、本当に良い機会だと思っています。知っている範囲の中でしか考えられないこともあると思うので、その視野の広げ方の一つの大切なプログラムだなと思っています。

同時に、今、教職員や引率された大人の皆さんたちの感想も聞かせていただき

	<p>ましたが、今回行ったメンバーのみならず、48,000人の小中学校の児童生徒の考える時間がこの「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に向けてあったということを考えると、教職員もこういった視点を開くような機会がもっとあったら良いなとも感じました。と言いますのも、この「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の作文を書いている期間のみならず、日々の学びの中で各教科とつなげながら平和について考えたりする、その引き出しを増やしていくことができるというのは、教職員もそういった機会がないと自分の手札と言いますか引き出しも増やせないと思いますので、そのような機会もぜひ作っていただければなと思っています。以上です。</p>
下田教育長	<p>ほかにございますか。</p>
植木委員	<p>御報告ありがとうございました。まず、48,000人の児童生徒が参加するというお話が御報告の中にあったのですが、市内の小中学校で全校が参加される、大体そのような感じになっているのですか。</p>
兵頭学校経営 支援課指導主 事	<p>ありがとうございます。基本的に全校参加しています。取組の仕方は学校次第ですが、5年生・6年生全員で参加する学校、中学校全体で参加する学校もあれば、希望者のみで参加するという学校もありますが、全校で行ってはおります。</p>
植木委員	<p>全校で参加されているということですが、今後の取組予定を見ると、今回の方が年度内の活動報告で終了のようになっていると思います。次回に参加者を増やしていくためには、前の年にどのようなことがあったか。それも直近ではなく、例えば小学校の5年生・6年生で行った方たちが中学生になってどのような形に変わってきているか。先ほど緒方委員からもお話がありましたが、大人になってからの考え方だけでなく、子どもたちが成長していく中でこの機会がどのような形で自分にとって大きなものになったのかなど、そのようなことをその時々の子どもたちに伝えられる、そういった場面があると、より広がっていったり、いろいろなことを考えられるようになったりすると思うので、その辺りも御検討いただければと思います。ありがとうございました。</p>
下田教育長	<p>ほかにございますか。</p>
泉委員	<p>御報告ありがとうございました。二つ質問させていただきたいと思います。一つは、この「よこはま子どもピースメッセージ2025」は誰が作成したのでしょうか。国際連合本部等へ行く児童生徒4人が作成したものなのでしょうか。</p>
兵頭学校経営 支援課指導主 事	<p>ありがとうございます。この「よこはま子どもピースメッセージ2025」ですが、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト本選に出場した38名、これは区の代表者ですが、その38名でグループワークをしながら、時間を取って子ども実行委員会を開きまして、そこで作成いたしました。</p>
泉委員	<p>すごくすばらしい過程を踏まれていると思いました。そのように子どもたちが多く関わって一生懸命考えた平和を願う気持ちが込められたメッセージに対して、国連に発表し、伝達すると、そのときの反応があると思います。そういったものはその場で言葉で頂くだけなのか、それとも何かお返事みたいな形で文書で頂けるものなのでしょうか。</p>

兵頭学校経営 支援課指導主 事	<p>ありがとうございます。その場でももちろん、読んでお伝えしますが、よこはま子どもピースメッセージに感動して、それに対する御感想を毎回頂けます。それとともに、これは毎年ではなく今回が初めてなのですが、先ほど少し御紹介しました国連事務総長室長のコートネイ・ラットレー氏からお礼のレターも先日頂きました。</p>
泉委員	<p>すばらしいですね。私は何を聞いたかったかと言いますと、そのお返事が文書などでありますと、まず最初に参加したこの48,000人の児童生徒、そしてこのよこはま子どもピースメッセージを直接作った38人の児童生徒も直接アクセスできると思いました。と言いますのが、この取組は確かにすばらしい取組ですが、派遣児童生徒は4人ですよね。多くの子どもたちは、もちろん自分たちの中で送り出したという気持ちもありながら、もう一方で少し他人事になってしまっていたらもったいないなと思いました。そのようなときに、自分たちが選出した代表たちが持っていったメッセージが、自分たちにも間接的にお返事が返ってくるものが目に見えてあると、少し自分のこととして捉えることができるのかなと思ったことから御質問しました。</p> <p>もう一つは、このような取組というのは他都市でもあるのでしょうか。</p>
兵頭学校経営 支援課指導主 事	<p>ありがとうございます。今のところ、他都市でこのような取組があるというのは聞いていないです。ピースメッセンジャー都市が日本に四つ、広島市、長崎市、東京都、横浜市とあり、それぞれの取組を聞いたことがあるのですが、国連本部や国際機関等に児童生徒を派遣しているのは横浜市のみと聞いています。</p>
泉委員	<p>そうなのですね。大変価値のある取組をされていまして、こういった毎年の積み重ねで、世界の中における横浜市の捉えられ方などが、また決まってくるかと思しますので、引き続き意味のある形で継続していただきたいです。また、時代や社会情勢に合わせてリニューアルされていくことも少し考えていただけたらなと思います。以上です。</p>
下田教育長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、御質問がなければ、次に「横浜市いじめ防止啓発月間の取組について」、所管課から報告をお願いいたします。</p>
住田不登校支 援・いじめ対 策部長	<p>よろしくお願いします。不登校支援・いじめ対策部長の住田です。12月は「いじめ防止啓発月間」ということで、「横浜市いじめ防止啓発月間の取組について」、不登校支援・いじめ対策課担当課長より説明させていただきます。</p>
麻野不登校支 援・いじめ対 策課担当課長	<p>不登校支援・いじめ対策課担当課長の麻野です。私から御報告させていただきます。資料を御覧ください。12月は、「いじめ防止啓発月間」として活動を行っております。子どもをいじめから守り、社会全体でいじめの防止等に取り組むことへの理解及び協力を求めるため、「横浜市いじめ防止基本方針」に基づき、12月を「いじめ防止啓発月間」と位置づけ、様々な啓発に取り組んでまいります。この取組の一環として、子どもの健全育成に係る関係機関と協働し、「いじめ防止市民フォーラム」を開催するとともに、啓発ポスターやのぼり旗、リーフレット等を活用した啓発に努めてまいります。</p> <p>一番大きな行事ですが、資料の真ん中になります「いじめ防止市民フォーラ</p>

ム」を開催いたします。「日時」については、令和7年12月23日火曜日13時30分
から行います。「会場」は、横浜市開港記念会館です。「テーマ」ですが、「い
じめをしない させない 見逃さない～オール横浜でつながり、広げる、いじめ
の未然防止の輪～」というテーマで行います。「内容」につきましては、代表の
大人と子どもによるグループ協議、全体での意見交換・共有となります。「主
催」につきましては、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が内容を確認しながら進
めております。

＜その他の取組＞として四つ、啓発月間で行いたいと思います。「取組1 啓
発ポスター・のぼり旗等の活用」です。ポスターなどでいじめの防止を広く呼び
かけてまいります。啓発ポスターやのぼり旗を市内の全学校、そして区役所等の
関係機関で掲示いたします。また、一定期間、横浜市営地下鉄の車内や新横浜
駅、関内駅構内にあるデジタルサイネージ、いわゆるデジタル広告ですね、こち
らを使って掲出いたします。本日はこの会場内にものぼり旗と啓発ポスターを掲
示させていただきましたので、皆様、後ほど御覧いただけたらと思います。

裏面を御覧ください。「取組2 いじめ防止啓発動画の活用」ということで、
子どもたちの声を発信します。令和6年度に制作したいじめ防止啓発動画「い
じめをしない自分であるために～横浜の子どもたちの声～」のショート動画を市役
所や区役所の庁舎内デジタルサイネージで放映したいと思います。

「取組3 市民向け啓発リーフレットによる周知」を行っていきます。子ども
だけでなく大人ができることを周知していきます。いじめに関する正しい理解や
いじめ防止に向けて大人ができることを広めていき、市民向け啓発リーフレット
「大人が知っておきたい『いじめ』のこと」を新たに制作しました。区役所等の
関係機関を通じて広く市民の方に配布していきます。こちらがその見本となりま
す。よろしくお願いいたします。

最後、「取組4 いじめ解決一斉キャンペーン」です。いじめや人間関係のト
ラブル、セクシュアル・ハラスメントに悩んでいる子どもへの早期支援につなげ
るため、「安心して生活するためのアンケート」を市内全校で実施いたします。
学校いじめ防止対策委員会等を中心に、アンケート内容を把握するとともに、支
援状況の点検や情報の確実な共有を行い、保護者や関係機関とも連携して子ども
の支援につなげていきます。

今年度、「横浜市いじめ防止基本方針」の改定も行いました。12月の「いじめ
防止啓発月間」をうまく利用して、「いじめをしない させない 見逃さない」、この取組を地域社会にも広げていけたらなと思っております。報告は以上
になります。

下田教育長

説明が終了いたしました。御質問があればお願いします。

緒方委員

御説明どうもありがとうございました。本市のいじめを防止するための様々な
取組、このように続けていってほしいなと思います。私は、8月の末に行われた
「横浜子ども会議の区交流会」に参加させていただきましたが、そこでも熱く語
られていて、ここでまた市民の方が集まっているいろと話す。それが別物になっ
てはいけないなと思うのですが、横浜子ども会議といじめ防止市民フォーラムと
の関係性と言いますか、のぼり旗も学校で立てられるわけですね、その辺りど
のようになっているのでしょうか。

麻野不登校支
援・いじめ対

ありがとうございます。年間の流れとして、まず各学校、あるいは各小中学校
ブロックで横浜子ども会議を開催していただいて、今お話がありました、夏休み

策課担当課長	<p>の終わりに区の子ども会議をそれぞれ各区で行っております。今回のいじめ防止市民フォーラムについては、そこで話し合われた結果、あるいはそこに参加した子どもたちの代表が集まりますので、1年間のまとめのようなフォーラムになるかもしれませんが、逆に言ったらこのいじめ防止市民フォーラムが来年に向けての出発点にもなりますので、今回はその辺りも意識して開催できたらなと思っております。</p>
緒方委員	<p>ありがとうございました。とても良いことだと思います。やはり子どもたちが結局、「いじめはいけない、防止していかなければいけない」という気持ちを醸成していくことが大切だと思いますが、6月・7月に行った区の中での話し合い、そしてこのような全市で行われているという、その流れを子どもたちが感じられることが大切なのかなと思います。今回はのぼり旗を各学校でも立てて行うということで、児童生徒の6月・7月に話し合ったことがこういう形になっているという統一感と言いますか、そういうものが表れると良いなと感じました。ありがとうございました。</p>
下田教育長	<p>ほかにございますか。</p>
森委員	<p>ありがとうございます。このように学ぶ環境を、市民やいろいろな方々と一緒に考えたりすることは、すごく大切なことだと思っています。ただ、同時に、どのようにしたら更に良くなっていくかということも考え続けなければいけないと思っています。例えば啓発ポスター・のぼり旗なのですが、これを文字として見かけたとして、それが本当に行動につながるのかと考えたときに、それがただ景色となって見るものだけになっていると、ただあるだけのものになってしまうので、啓発ポスター・のぼり旗の役割と、行動にどう移してもらうかの部分、そのつなげ方というのは、もう一工夫、二工夫、必要なのかなと思います。恐らくそれもあってこのいじめ防止市民フォーラムを開催しているということだと思っています。</p> <p>そうなったときに、いじめ防止市民フォーラムにはどのような方々に来てほしいのかということも改めて考える必要があるかなと思います。結果的に支援団体の方や、日頃、既に活動されている方々が集まる場だとすると広がりがないので、どのように更に外側に広げていけるかということを考えていかなければいけないなと思います。いじめ防止市民フォーラムは、関係団体でない方が来られるようなものになっているかなど、そのための周知はどのような工夫をしていけるかということは、一般生活をしているとなかなかこの情報は届いていないので、考えなければいけないなと思います。そうすると、恐らくそれもあって今回、市民向け啓発リーフレットを作ったのかなと想像します。区役所等の関係機関を通じて、広く市民に配布しますと書いてありますが、この表紙を見て実際に手に取って読んでくれる人は相当興味がある人かなと思います。ただ配るだけだと、本当に知ってほしい方々の手に届かないので、配布以外の部分で区役所の方、区役所などの関係機関と書いてある皆さんたちは何か考えていただけそうなのか、どのようなコミュニケーションを取っていらっしゃってどのような願いをされているかなど、その辺りをお聞きできればと思いました。</p>
麻野不登校支援・いじめ対策課担当課長	<p>ありがとうございます。まさに御指摘いただいたところが一番の肝と言いますか課題かなと捉えております。今年度、まず大人の方で参加していただく方は、もう少し子どもたちと実際に関わっている現場の方というのでしょうか、そうい</p>

	<p>った方々にもお声がけをして参加していただく予定です。あわせて、配布の仕方などその辺りの工夫も必要ですし、大学生にも声をかけて参加していただくなど、できるところからいろいろ工夫して試してみようかなと思っております。開催して終わりではなく、地域の方、大人が考えて何か一個行うなど、一步でも踏み出せるような結果で終われるように開催していきたいと思っています。</p>
住田不登校支援・いじめ対策部長	<p>補足させていただきますと、昨年度も同じように市民の方に広く来ていただきたくて、いろいろ事前にお伝えや、意見の募集などをしておりました。その中で、実際に、学校関係者でもなく、関係団体の方でもない方がいらっしゃいました。ところが、その当日の大人たちの格好が、いわゆるスーツ姿の大人がたくさん会場にいたということで、やはり入りづらいという御意見がありました。そのため、今年はそういった環境面に少し気を付けながら、入っていただけるような工夫をしながら、いじめ防止市民フォーラムを開催していきたいと思っています。</p>
森委員	<p>当日の雰囲気作りなど、いろいろな関係機関の皆さんが啓発リーフレットを配るなど一緒に発信してくださるということですが、更にその皆さんには、ただ配布だけにとどめず、いろいろな場を掛け合わせながら、配布や考える場をセッティングするということをぜひお願いしていくと良いのではないかと思います。</p> <p>一方、一番良いなと思ったのは、横浜子ども会議自体をその地域の皆さんたちが開いて行っていた事例があり、それが一番、子どもたち自身が周りの人たちに声をかけながら一緒に考える機会を作っていたというのも8月22日の教育委員会会議のときに御報告いただいたと思うのですが、独自のいじめ防止サミットは身近な方々とともに考えられたりする機会だと思うので、そこは目指していきたい姿だなと思います。いろいろな区に広がっていくと良いなと思っています。</p> <p>あと、子どもたちのアンケートをたくさん取ったと思います。子どもたちのアンケートの声も実際に見せていただいたことがありますが、「こういう声が多かったです」とまとめるのがもったいないぐらい、一つ一つの声に考えさせられるものが多いと思うので、一つ一つのこの機会に、たださらっといろいろな話を聞いてちょっとした感想を言い合うだけでなく、子どもたちの声を目の前にして考えるような、深く考えたり対話する場面を意識的に作っていただけると良いなと思いました。</p>
下田教育長	<p>ほかにございますか。</p>
植木委員	<p>今の森委員の質問にもあったかと思うのですが、この「いじめ防止市民フォーラム」を開催しますとお伝えしているのは、関係する方たちや大学生など、こちらからアクションを起こしたところの方だけになるのでしょうか。一般の方がこのような「いじめ防止市民フォーラム」を開催しているのを知る機会があるのか、実際に入れるのかどうか、その辺りを教えていただけますか。</p>
麻野不登校支援・いじめ対策課担当課長	<p>ありがとうございます。本日、市民の方向けには記者発表させていただいて周知していこうかと計画しております。</p> <p>※当日10時に記者発表しており、本会議録において訂正します。</p>
植木委員	<p>この記者発表資料を出すということですね。これだと一般の方が参加できるかどうか書かれていない感じもして、「御自由に御参加ください」なのか</p>

	<p>どうなのか、その辺りも分かるようにされたほうが良いのかなと思います。お願いいたします。</p>
麻野不登校支援・いじめ対策課担当課長	<p>ありがとうございます。昨年まで会場は横浜市役所1階アトリウムで、一般の方が通りすがりでも見られるような環境でできていたのですが、今年度については会場が横浜市開港記念会館ということで、もちろん一般の方の見学・御参加も可能ですので、その辺り、どのようなことが今からできるか判断していきたいと思います。</p>
下田教育長	<p>ほかにございますか。</p>
泉委員	<p>御説明ありがとうございました。私は、いじめ防止市民フォーラムが終わった後のことを少しお聞きしたいと思いました。このいじめ防止市民フォーラム自体を、開催することはとても意義があつて、子どもも大人も参加してみんなで真剣に話し合う場をここで作っているという、大変意義があるものだと思います。こういった取組、市民全体でいじめをなくしていこうとしている姿勢や、子どもも真剣に考えているという様子を一番見てほしいのは、実はその世代の子どもたち自身であつたり、その保護者であつたりすると思います。ただ、平日の昼間で、なかなか保護者が参加するのは難しいかなと思うところもあるのですが、そういったときに、いじめ防止市民フォーラムを開催したことを記録に残して、その後どう発信していくか、そういったところでもし計画がありましたらお願いいたします。</p>
麻野不登校支援・いじめ対策課担当課長	<p>ありがとうございます。当日の様子は記録に残して、その後、御報告と言いますか発信していく予定がございますので、そこで各学校あるいは市民向けにまた伝えていきたいと思います。</p>
住田不登校支援・いじめ対策部長	<p>補足させていただきますと、8月の横浜子ども会議区交流会の取組自体もYouTube上で動画にまとめたものを配信しておりまして、今3万件強の視聴をいただいております。同じように今回の取組も動画にまとめて配信していく予定になっております。</p>
下田教育長	<p>よろしいですか。</p> <p>それでは、ほかには御質問がなければ、次に議事日程に従い、審議案件に移ります。</p> <p>まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第37号議案「令和7年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出について」、教委第38号議案「横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について」、教委第39号議案「横浜市立学校における物損事故に係る損害賠償額の決定に関する意見の申出について」は、議会の審議案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p><了 承></p>
下田教育長	<p>それでは、教委第37号議案から教委第39号議案は、非公開といたします。非公開案件の審議に入る前に、事務局から報告をお願いします。</p>

古瀬総務課長	<p>今回の教育委員会定例会は、12月5日金曜日の午前10時から開催する予定です。また、次々回の教育委員会定例会は、1月23日金曜日の午前10時から開催する予定です。</p>
下田教育長	<p>皆様、よろしいでしょうか。今回の教育委員会定例会は、12月5日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。</p> <p>次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴・報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。</p> <p style="text-align: center;">＜傍聴人及び関係者以外退出＞</p>
下田教育長	<p>教委第37号議案「令和7年度歳入歳出予算案（12月補正）に関する意見の申出について」 （原案のとおり承認）</p> <p>教委第38号議案「横浜市一般職職員の給与に関する条例等の一部改正に関する意見の申出について」 （原案のとおり承認）</p> <p>教委第39号議案「横浜市立学校における物損事故に係る損害賠償額の決定に関する意見の申出について」 （原案のとおり承認）</p>
下田教育長	<p>本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。</p> <p style="text-align: right;">[閉会時刻：午前11時20分]</p>